

# 尾上の郷だより

第7号

平成23年1月発行

発行責任者  
：渡部博也

編集  
：マナー委員会



尾上の郷は、「ほんまもん」の介護を追求し、地域社会に貢献することを経営の理念とします。

## 「新年のごあいさつ」



太子福社会 理事長  
荒尾 潤

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情にあずかり、心より御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨今の、少子高齢化、労働力の減少、地方分権といった社会情勢変化の中で、人口減少期の我が国は、大きな転換期を迎えています。そして、社会保障や社会福祉制度においても見直しや再検討が続いています。

社会福祉法人に対しては、これまで以上に公益的な取り組みの推進が求められ、その在り方の議論の中、自ら立ち自らを律する、「自立」「自律」の経営が必要とされ、また経営基盤の強化を意識した様々な改革も進められています。

この様な情勢の中、本年の太子福社会は、法人の基本理念に基づき、住みなれた地域での生活、自宅に近い状態での生活、を支えることが重要と考え、各拠点毎に施設整備に力を入れていきたいと考えております。

折りしも、加古川市の地域密着型介護施設の整備計画とも一致し、平岡町及び尾上町におきまして、既存施設の隣接地を利用したの新規施設建設の運びとなりました。従来に増して、お一人お一人に個別的満足を提供し、また、その満足を高める事が出来るものと期待しております。

一方で、高齢者介護への取り組みと共に、少子化や子育てに対する支援の一つとして、今回の平岡町の新規施設につきまして、事業所内保育所を併設する予定となっております。病院関係及び当福社会の従業員対象ではございますが、地域の皆様にも一部ご利用いただける見込でございますので、宜しく御願ひ致します。

おかげさまで、当福社会の既存各施設とも、ご好評いただいております。これに加え、本年秋には前述の新しい介護施設が誕生いたします。この様に、順調に運営できておりますのも、皆様方のご支援ご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも、地域の皆様から信頼され、真に安心してサービスを受けていただける施設となるべく、一層努力してまいりますので、本年も皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

## 「新年を迎えて」



尾上の郷 施設長  
渡部 博也

あけましておめでとうございます。

新年のお慶びを申し上げますとともに、本年が皆様にとってよいお年でありますことをお祈り申し上げます。

本年は尾上の郷の東隣に29床の地域密着型特養と10床のショートステイがオープンします。いずれも全室個室のユニット型で本年秋開設の予定です。加古川市の計画に尾上の郷が応募し実現したもので、地域のみならずのご理解とご支援のお陰と感謝しております。

建設は3月から開始する予定で、皆様にはなにかとご迷惑をお掛けしますが、ご協力のほどよろしくお願ひします。これまで尾上の郷は小規模多機能、デイサービス、ヘルパーステーション、居宅支援事業の在宅サービス運営してきましたが、今回の施設は本格的な入居施設で、尾上町では初めての施設です。地域密着型の理念は入居者がこれまで暮らしてきた地域となじみの関係を切らさず、暮せることをケアの中心に置いています。また、10人の入居者をユニットとし、同じ介護職員で家庭的な暮らしを実現させようとするものです。

春には入居希望者の受け付けを始めますので、これまでの在宅サービスと併せてよろしくお願ひ致します。

本年が地域の皆様と我々事業者にとって希望のある1年となることを祈念し、職員一同努力を重ねる所存です。本年も皆様の温かいご支援とご指導をよろしくお願ひします。

## 23年秋 開設!!

入居申込の受付は、平成23年の4月よりおこないます。

受付窓口  
尾上の郷 特養入居申込係

TEL 079-454-8670

担当 魚橋

### 概要

地域密着型特養 29床  
ショートステイ 10床

全室  
個室

※地域密着型特養については加古川市住民の方のみの入居となります。

地域密着型の特養がショートステイと一緒に開設します。



尾上の郷 副施設長  
母利 政範

地域密着型  
特別養護老人ホーム